

学習目標		
(1)進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。		
(2)基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。		
(3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。		
月	単元・題材名	学習内容
4	○につぼんのうた みんなのうた ・小さな世界 ・春の小川 ・この山光る	・季節を感じたり、様子を思い浮かべたりしながら、歌唱や曲想、旋律の流れを生かした表現を工夫する。 ・優しい声でなめらかに歌う。
5	○ひびけ歌声 ・キラキラおひさま ・ドレミの歌	・旋律に合った歌い方を工夫しながら、響きのあるのびやかな声で歌う。 ・ハ長調の階名唱に慣れ親しむと共に、楽しく歌い合わせる。
6	○こんにちはリコーダー ・リコーダーは歌う ・シシシでおはなシ ・「笛星人」より ○リズムにのって ・まほうのチャチャチャ	・リコーダーの基本的な演奏の仕方に慣れる。 ・リコーダーの美しい響きを味わう。 ・リズムにのって歌ったり、楽器で伴奏したりして楽しむ。 ・リズムや旋律の反復や重なりを楽しさを感じ取って、演奏したり聴いたりする。
7	○につぼんのうた みんなのうた ・うさぎ	・わらべうたの音階に親しむ。 ・季節を感じ、情景を思い浮かべて表現する。
9	○せんりつと音色 ・ユモレスク ・白鳥 ・森の子もり歌	・旋律やフレーズの特徴を捉えて、曲想を生かした表現を工夫する。 ・楽器の音色の特徴や、旋律の変化を捉えたり、各楽器が表している様子や、音楽全体が表している情景を想像したりして聴く。
10	○日本や世界の子どもの歌 ・陽気なかじや ・アジアの子どもの歌	・情景を思い浮かべ、気持ちを込めて表現する。 ・曲想を感じて歌い方を工夫する。 ・日本やアジアの国々の歌や遊びに親しむ。
11	・雪のおどり ・マンガニ、雨とおどろう ・ふじ山	
12	○えんそうのつぼ ・せいじゃの行進	・パートの役割を理解し、旋律の流れや音の重なりを生かした演奏を工夫する。
1	○音楽のききどころ	・楽器の音色を味わい、曲想を感じ取って聴く。
2	・組曲「アルルの女」から ・ピーターとおおかみ	・旋律の変化や重なりを捉え、楽曲のよさや面白さを感じ取って聴く。
3	○みんなの音楽パーティ ・パフ ・君が代	・曲想を感じ取り、パートの役割や曲の構成を捉えて演奏する。 ・パートに合う楽器を選んだり、歌声や楽器の音色の組み合わせを工夫したりしながら、友達とアンサンブルを楽しむ。
評価の観点		
【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心もち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。		
【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。		
【音楽表現の技能】 音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。		
【鑑賞の能力】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や奏のよさに気付き、味わって聴いている。		
評価の方法		
テスト	表現活動の様子	ワークシート 発表 課題への取り組み状況 演奏実技